

## 2 - 5 江刺地球潮汐観測施設における地殻変動の連続観測

### Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

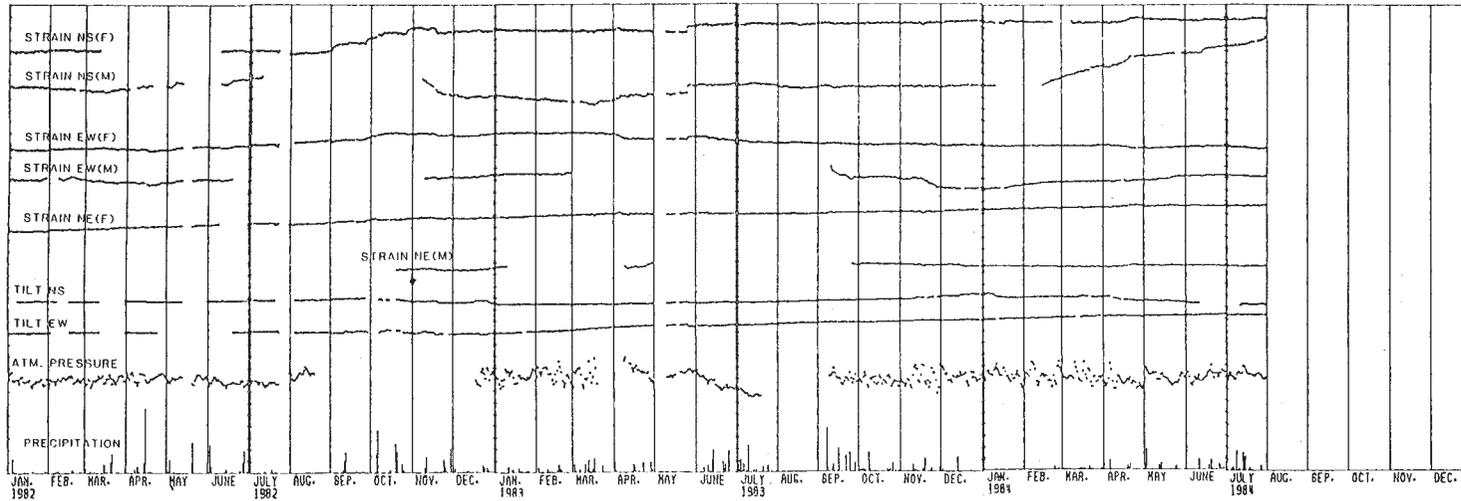
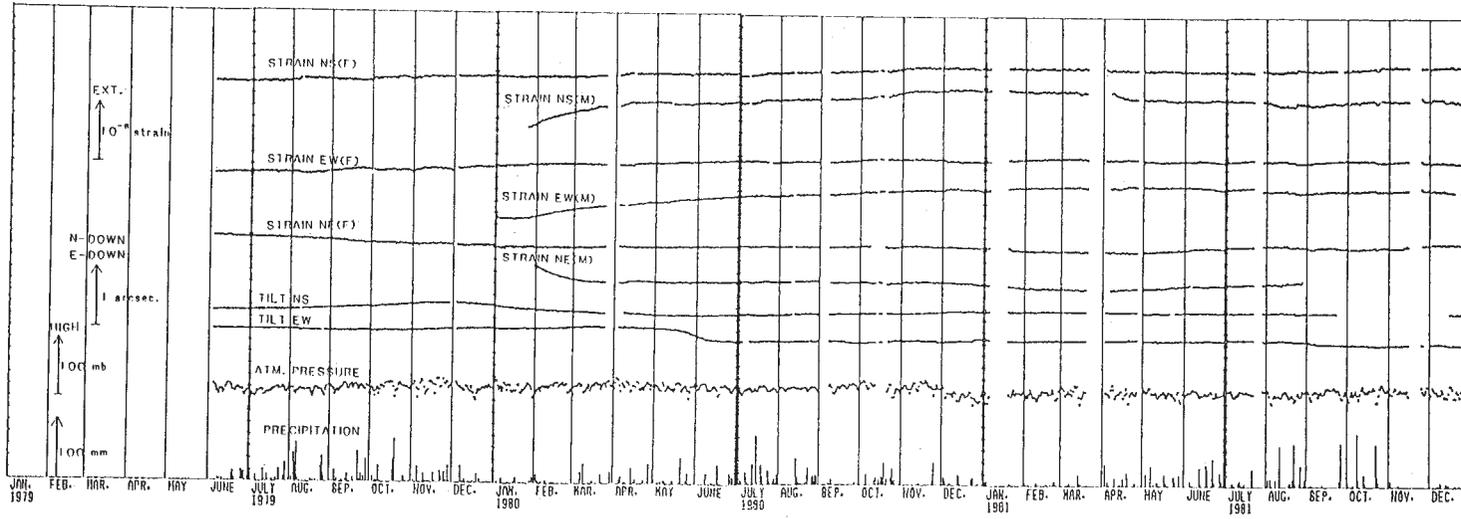
緯度観測所

International Latitude Observatory of Mizusawa

前報（第32巻）に引き続き江刺地球潮汐観測施設における歪，傾斜の観測結果を報告する。

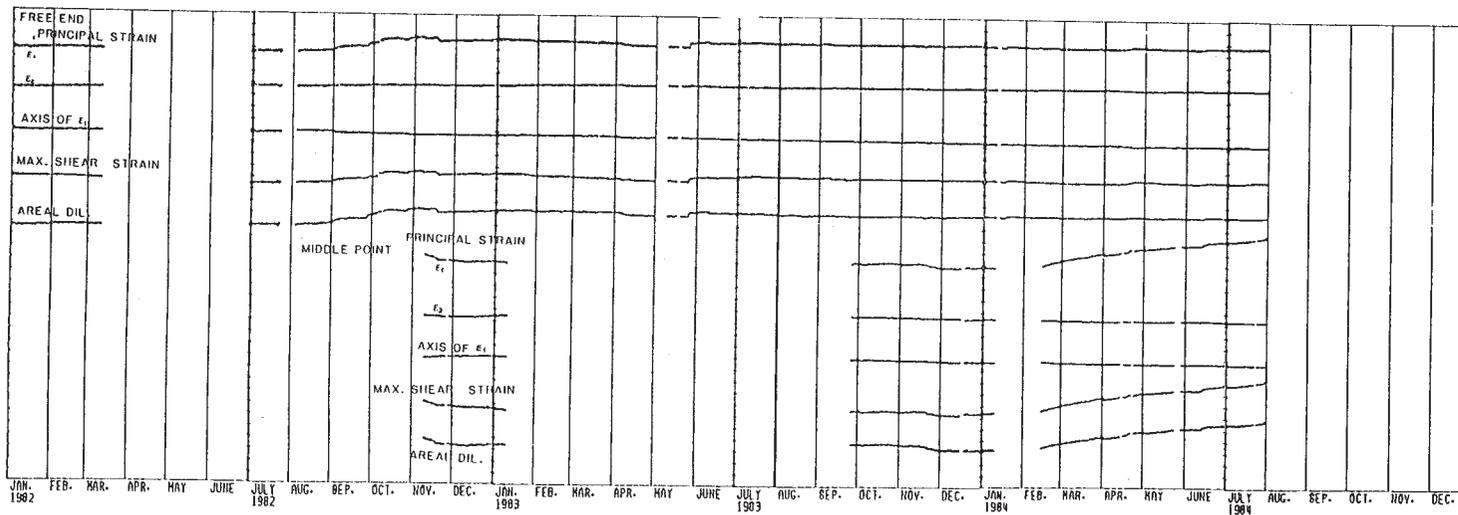
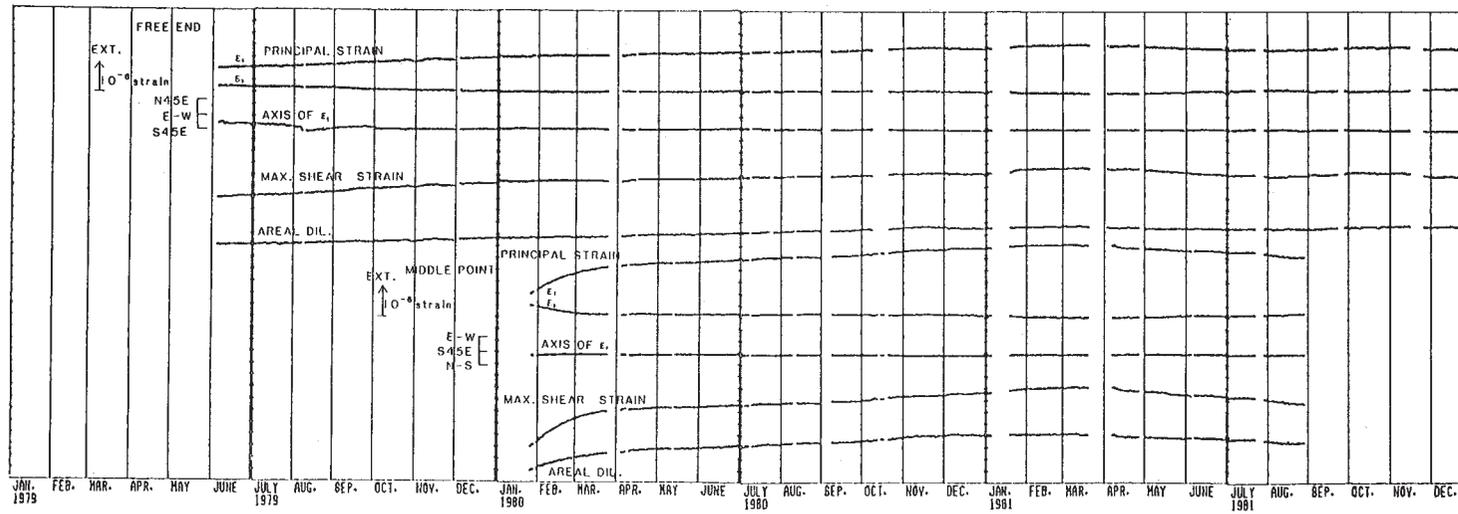
第1図は観測開始の1979年6月から1984年7月までの歪，傾斜の経年変化，気圧，降水量の変化を示したものである。1984年2月中旬より7月までの歪のNS(M)成分の乱れは器械的なドリフトであることが判明した。(M)は中間点を示すものである。

第2図には上から求めた主歪，最大せん断歪および面積歪を示し，第3図には傾斜ベクトルを示す。特徴的なことは，1980年4月～7月の3ヶ月で約0.3"西へ傾斜したものが1983年2月～1984年5月の15ヶ月かかって東へ傾斜し殆ど元へ戻ったことである。この原因については現在検討中である。



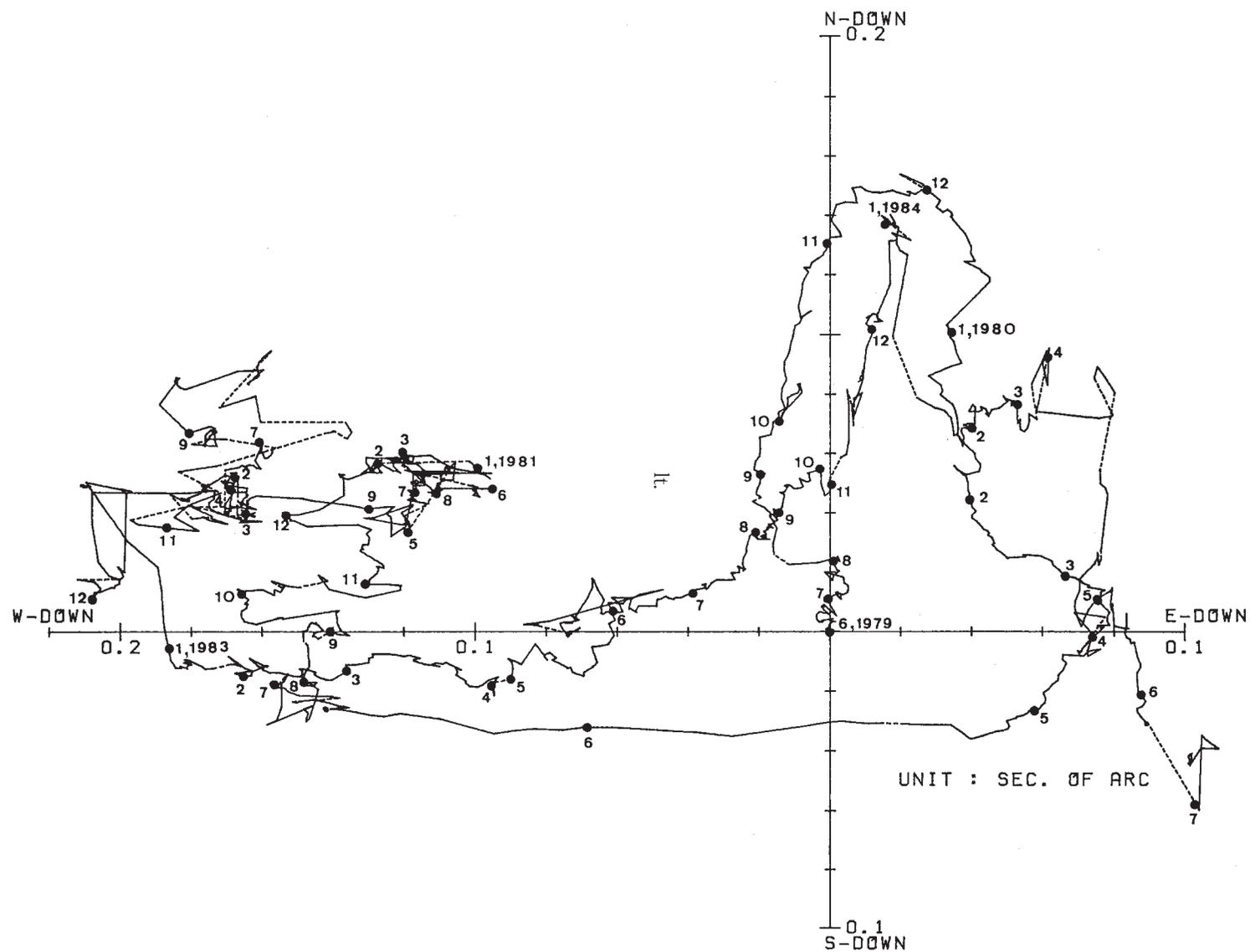
第1図 江刺地球潮汐観測施設における地盤の歪および傾斜の日平均値

Fig. 1 Daily values of ground strains and tilts at the Esashi Earth Tides Station.



第2図 主歪, 最大せん断歪および面積歪

Fig. 2 Derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation.



第3図 地盤傾斜ベクトル図

Fig. 3 Vector diagram of ground tilt.